

みやぎ 復興 プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：おながわ復興まちびらき2015春を開催
p2 みやぎ“復興人”：「バイオマス産業都市」、応援職員紹介
p3 月間ココロプレス
p4 県からのお知らせ、復興イベント情報 ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス

おながわ復興まちびらき2015春を開催！

—未来に向けた新しいまちづくり—

津波により、かつての女川町の中心街は壊滅的な被害を受けましたが、震災から4年が経過した平成27年3月、JR石巻線の全線復旧と町の玄関口となる女川駅舎の完成に合わせて、「まちびらき」のイベントが開催されました。

—おながわ復興まちびらき2015春—

平成27年3月21日（土）。女川町で、女川駅周辺の「まちびらき」が行われました。当日は、記念式典と、女川駅舎に併設され、翌22日にオープンする温泉温浴施設「女川温泉ゆぼっぼ」の内覧会も行われ、多くの人で賑わいました。

新しい女川駅舎は、以前の場所から150メートル内陸に建てられ、女川町のシンボルのウミネコが羽ばたく姿をイメージした屋根が印象的な3階建てで、1階が主に駅舎となり、2階には温泉温浴施設、そして3階は展望フロアで、女川湾が一望できます。

式典で、須田女川町長は、「4年かけてここまで来ることができたことを、支えてくれた方々とともに喜びたい。そして引き続き全力で復興に取り組む。」と挨拶されました。

駅周辺地区は、27年秋までには、駅から海へ向かう「プロムナード」などが完成し、その沿道には、「(仮称)交流センター」や「駅前商業エリア」、「テナント型商店街」が配置され、28年秋までには「(仮称)物産センター」などが完成する計画となっています。

—女川町復幸祭—

まちびらきの翌22日（日）には、今回で4回目となる「女川町復幸祭」が開催され、大勢の人が訪れ、まちびらきをお祝いするとともに、女川の物産品の販売や、ステージでは伝統芸能やアイドルグループによるライブが行われるなど、大いに盛り上がりました。

前日祭では、「復興伝承 復幸男」が開催され、「大地震が来たら高台へ避難！」を伝承するため、津波の到達時間の午後3時32分に合わせて、参加者約200人が坂道を駆け上がり、1番復幸男を競いました。



▲関係者らによるテープカットの様子



▲JR女川駅



◀JR女川駅の模型



▲「津波伝承 復幸男」のスタート

【関連リンク先】 女川町のホームページ <http://www.town.onagawa.miyagi.jp/index.html>



南三陸町では、震災復興計画で「エコタウンへの挑戦」を掲げ、様々な取り組みが行われていますが、昨年3月、国による「バイオマス産業都市」に選定されました。「バイオマス産業都市」とは、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域で、内閣府などの関係7府省の共同により推進されています。

こうした中、南三陸町で、住民を巻き込んだ様々な活動を続けている方を紹介します。株式会社アマタ持続可能経済研究所の櫛田豊久さんにお話しを伺いました。

●南三陸町での取り組みのきっかけを教えてください。

当社は震災後、ご縁があって南三陸町でボランティア活動をしておりました。もともと資源リサイクルの会社ですが、被災状況を見て、当社として復興に何かお役に立てることはないかと、被災者の方々と相談したところ、多くの皆さんは、南三陸町の素晴らしい自然と共生した暮らしを望まれていることがわかりました。

町の復興計画でも「自然との共生」が大きな柱となり、町のエコタウンづくりに、当社のノウハウを活用していただきたいと思います。地元の皆さまなどと具体的な事業実施に向けた準備を進めてきました。



▲地元農業者への農業支援

●これまでに行ってきた取り組みをご紹介します。

主に木質バイオマスを活用した木質ペレット事業と生ごみなどを活用したバイオガス事業について、町内の関係者などとともに、その事業性を検討してきました。ま

た、地元の農家さんにご協力頂きながら環境共生型の米づくりや薬草栽培なども行ってきました。

分水嶺で囲まれ森里海がコンパクトにまとまっている南三陸町。人と自然が「関係する豊かさ」を未来にしっかりとつないでいくことに貢献したいと考えています。

●今後の計画をお聞かせください。

町内に新たに設置を予定する施設で、これまで廃棄物として処理されていた生ごみやし尿汚泥などの有機系廃棄物を発酵処理して、バイオガスと液体肥料を生成させ、バイオガスは、発電して施設内利用するとともに、液肥は有機質肥料として地元農地に還元する計画です。

この取り組みをきっかけに、南三陸町と当社は事業協定を結びました。この事業が成功するには、町民の皆さまが主体的に参加して頂くことが欠かせませんので、町と連携して丁寧に説明をしていきたいと思ひます。

そして、ここ南三陸町において、廃棄物を資源に変えて活用するといった地域内資源循環システムの世界的モデルづくりの実現に向けて頑張ります！



▲住民へ液肥の利用勉強会
(写真右が櫛田さん)



▲スタッフの皆さん
(アマタ南三陸オフィス)

問 (株)アマタ持続可能経済研究所

南三陸オフィス ☎0226-47-4055

所 南三陸町志津川字廻館 58-12 サンライズヒルズI-102

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol. 30



宮城県震災復興本部

氏名 金井 光章 (カナイ ミツアキ)
派遣元 東京海上日動火災保険株式会社
所属 震災復興推進課

出身は東京都で、今回の派遣で初めて郷里を離れることになりました。派遣元の東京海上グループでは、「風化させない」をコンセプトに、社員による被災地ボランティア活動を継続的に取り組んでいます。石巻市におけるがれき撤去・

漁業支援等のほか、平成25年4月からは防潮林再生とまちの復興への取り組み「わたりグリーンベルトプロジェクト」に、ボランティアとして参加しています。また、防災の知識を子どもたちに伝える「ぼうさい授業」を行っています。

派遣先の宮城県では、復興推進のため組織された宮城県震災復興本部の運営や被災した他県や県内の沿岸15市町と連携し復興の課題、先進事例などを共有しています。特に組織間に横串を入れ、情報共有を図り、復興が少しでも効率的に推進できるような対応を心掛けています。

県外出身で、かつ民間から派遣されているからこそ「気づき」もあると思います。常に被災者の皆さんに寄り添い、お役に立てるように引き続き取り組んでまいります。



宮城県震災復興本部

氏名 齋藤 幸生 (サイトウ ユキオ)
派遣元 みずほ銀行株式会社
所属 震災復興推進課

仙台市出身で、大学卒業までの22年間、宮城県に住んでいました。平成24年4月にみずほ銀行へ入社した後、平成26年4月からふるさと宮城の復興のため派遣されています。

派遣元のみずほ銀行では、復興支援の取組として、七ヶ浜町での海岸清掃ボランティアのほか、県外へ避難されている被災者の方々への情報提供のため、全国約450の支店及び出張所に、復興プレス等の広報紙や被災者のための情報誌等を設置するなどしています。

派遣先の宮城県では、震災の記憶の風化防止の一環としての、震災からの復旧・復興の取組を取りまとめた記録誌の作成や、被災者の生活支援に関する施策について情報共有を行い、各課室間の連携を図る被災者生活支援実施本部会議の運営などを担当しています。

残り1年間、生まれ育ったふるさとでの復興のため、そして一人でも多くの人に東日本大震災の経験や教訓を伝えるため、少しでも力になれるよう取り組んでまいります。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・100万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukuuiup@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2015年3月9日 月曜日掲載

被災地へピアノをとどける会(南三陸町ほか)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/03/1.html

避難所に慰問演奏に赴いたピアニストの庄司美知子さんを待っていたのは、家もピアノも流されてしまった子どもたち。ポロポロの楽譜を手に「ピアノを触らせてください」と頼み込む姿が「被災地へピアノをとどける会」発足のきっかけとなりました。



2015年3月15日 日曜日掲載

第3回国連防災世界会議が開催

(仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/03/3_15.html

3月14日から18日まで仙台市で開催された「第3回国連防災世界会議」。閣僚や専門家の会議や発表と並んで、一般市民向けの防災・減災のための催しも市内のあちらこちらで行われ、多くの人々が参加しました。



2015年3月16日 月曜日掲載

「思い出さなければならぬこと」と、「忘れられないこと」。～追悼の万灯会～(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/03/blog-post_81.html

震災から4年の3月11日。多賀城駅前公園では、震災で亡くなられた188人の市民のお名前が収められたモニュメントの除幕式の後、「前を向きながらも、一年に一度は震災を思い出し、忘れないで語り継いでいく」という思いを込めて追悼の万灯会が開かれました。



2015年3月28日 土曜日掲載

浜の男気 FISHERMAN JAPAN(塩竈市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/03/fisherman-japan1.html

世界三大漁場の一つ、三陸沖。しかし長年の課題であった市場の低迷と後継者不足は、大震災のあと一層深刻になっています。そこに、「漁師ってカッコいいな」と思って職業として選ぶ若者を増やそうと、若手漁師集団が立ち上がりました。



復興 イベント情報

「岩沼潮除須賀松の森」植樹式 —希望者の一般募集について—

公益社団法人宮城県緑化推進委員会は、東日本大震災により被災した海岸防災林の再生に向けて、被災地における植栽等の活動の実施を希望している地域住民や個人等の参加・協働を推進するため、県と協定を結んで普及啓発及び森づくり活動を行っています。

今回植栽活動を希望している皆様方に対し、個人、グループ、地域住民等の皆様方が一堂に会しての植樹活動[参集型]を希望される方々を募集します。

■日時 第1回目 平成27年4月26日(日) 10:00~12:00

第2回目 5月24日(日) 10:00~12:00

■場所 岩沼市寺島字川向地内

■お問い合わせ 公益社団法人宮城県緑化推進委員会 TEL.022-301-7501 FAX.022-301-7502



東日本大震災-宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証-

県では3月に、東日本大震災における被害の概要や、県、国、市町村や消防、警察及びライフライン等関係機関の発災からおおむね1年間の災害対応等の記録、そこから導かれた教訓と改善の方向性について取りまとめた検証記録誌を作成しました。

震災の教訓を後世に残すとともに、県民の防災意識の向上を図り、本県の防災対策への反映はもとより、他自治体等の災害対応の基礎資料として活用していただくことを目的とし、各自治体や震災時に本県に対して支援をいただいた防災関係機関等に配布したほか、県のホームページにも掲載しておりますので、どうぞご利用ください。



☎危機対策課 ☎022-211-2376

<http://www.pref.miyagi.jp/site/kt-kiroku/kt-kensyou3.html>

みやぎ地域復興支援助成金平成27年度事業募集のお知らせ

県では、東日本大震災により被害を受けられた方々が安心して生活できる環境を早期に確保するため、NPO等が行う支援活動に要する経費の助成を行っています。詳しくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

【募集概要】

(1) 募集期間 3月25日(水)～4月15日(水)

(2) 対象事業

①総合タイプ・・・地域の復興から将来的な地域振興につながるような事業

②特定タイプ・・・新たな地域コミュニティづくりまたは本県からの県外避難者に対する帰郷支援に資する事業

(3) 対象者

①総合タイプ・・・NPO等、独立行政法人等、企業、市町村

②特定タイプ・・・NPO等、ボランティア団体、地縁組織等の任意団体

☎地域復興支援課 ☎022-211-2424

<http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/miyagitikihukkousienjoseikin.html>

復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

マリナル女川おさかな市場 しらす(小女子)祭り(女川町)

震災前、女川町では日差しが強まる春に「しらす干し」作りが盛んに行われていました。春恒例のイベント「しらす祭り」では、「しらすの釜揚げ」や「しらす干し」の販売、その他の生鮮魚介類、水産加工品も大特売致します。市場特製しらす汁、又はさんまのすり身汁を無料で振舞います。

☎平成27年4月11日(土)・12日(日)
10:00～15:00

所 マリナル女川おさかな市場

問 マリナル女川事業協同組合 ☎0225-54-4714

なとり春まつり(名取市)

名取市役所周辺広場を会場に、郷土芸能や各サークル発表など各種ステージのほか、ゆりあげ港朝市の移動出店や一般露店、フリーマーケットで盛り上げます。

☎平成27年4月11日(土) 9:30～14:00

所 名取市役所周辺広場

問 名取市商工会 ☎022-382-3236

気仙沼バル2015春(気仙沼市)

チケットを購入して、楽しく食べ飲み歩いて参加店舗を「はしご」するグルメイベントです。春の気仙沼の景色とおいしいものを楽しみに気仙沼に出掛けませんか。

☎平成27年4月18日(土) 16:00～

所 気仙沼復興商店街 南町紫市場

問 復興屋台村 気仙沼横丁 ☎080-1692-8000

志津川湾ホタテまつり福興市(南三陸町)

旬のホタテをメインテーマとする福興市。特価販売はもちろん、その場で食べられたり、飲食ブースからはホタテを使ったメニューが提供されます。ステージでは多彩なイベントも行われます。

☎平成27年4月26日(日) 9:30～14:30

所 ベイサイドアリーナ

問 南三陸福興市実行委員会事務局 ☎090-7077-2550

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

平成27年3月14日から18日に、第3回国連防災世界会議が仙台で開催されました。会議は、仙台国際センターで開催され、各国の首脳や閣僚、認証NGOの代表らが参加したほか、期間中に仙台中心部や夢メッセなどで、一般の方を対象とした講演会や防災に関する展示会なども開催されました。仙台市をはじめとした被災市町には、国内外から多くの方々が来県され、被災地の現状を広く発信する機会となりました。(佐)

国連防災世界会議関連イベント



▲せんだいメディアテーク

▲夢メッセみやぎ

みやぎ復興プレス 第35号

【発行日】平成27年4月1日

【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話: 022-211-2408 e-mail: fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/)

「震災・復興」 [URL http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

